

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事業						
担当部課	離島振興課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	① 農林水産物の輸送に要する費用の低廉化に関する事業 ⑦カ 奄美群島において製造された加工品の移出並びに生産される農林水産物及び製造される加工品に係る原材料等の移入に要する費用の低廉化に関する事業				交付率	7/10, 5/10	
事業内容	奄美群島における農林水産物等の輸送コストの負担軽減を図るため、本土と比べ割高となっている農林水産物等の輸送費の一部助成を行う						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	780,267	819,969	815,944		
		補正予算	▲ 85,936	▲ 151,655			
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	694,331	668,314	815,944	-	-	
	執行額	589,327	528,975				
執行率	84.9%	79.2%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花き除く) ②奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花き) ③奄美地域における製造品出荷額					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	-	-	①55,481t ② 56,156千本 ③21,531百万円	-	①55,512t ② 56,156千本 ③21,937百万円	
	実績	①44,154t ② 46,736千本 ③ -					
	達成度	-	-		-		
	達成状況の評価	【R元年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。 【R2年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られたが、コロナ禍の影響も有り出荷量が減少した。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	令和元年度からこれまでの農林水産物の輸送支援に加え、加工品の輸送と移出する農林水産物の原材料を移入する場合も当事業の補助対象とされた。 今後さらに補助対象者の生産振興計画に基づいた取組が着実に実施され、生産基盤の強化が図れるよう、市町村等との連携を強化する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島航空運賃軽減事業						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑥ 航路及び航空路における人の往来に要する費用の低廉化に資する事業	交付率	6/10				
事業内容	奄美群島における割高な移動コストを軽減することにより、離島住民、準住民等の負担軽減を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	995,325	932,425			
		補正予算	▲ 29,115	▲ 382,929			
		前年度繰越	0	0			
		翌年度繰越	0	0			
		その他増減	0	0			
	計	966,210	549,496	-	-	-	
	執行額	909,111	472,012				
執行率	94.1%	85.9%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	-	-	677千人 (中間目標値)	-	721千人 (最終目標値)	
	実績	577千人	350千人				
	達成度	-					
	達成状況 の評価	【R元年度】	新型コロナウイルスの影響もあり、対象路線における利用者数は対前年度で減少(93.8%)となったが、引き続き、多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は対前年度で大きく減少(60.7%)したが、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島航路運賃軽減事業						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑥ 航路及び航空路における人の往来に要する費用の低廉化に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島における割高な移動コストを軽減することにより、離島住民、準住民等の負担軽減を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	225,453	188,292	234,502		
		補正予算	▲ 43,328	▲ 84,876			
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	182,125	103,416	234,502	-	-	
	執行額	161,086	92,464				
執行率	88.4%	89.4%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	136千人	136千人	136千人 (中間目標値)		136千人 (最終目標値)	
	実績	125千人	63千人				
	達成度	91.9%	46.3%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	引き続き、多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。(台風による欠航増加やコロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。)				
		【R2年度】	奄美群島住民等の負担軽減が図られているが、コロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島航路運賃軽減事業						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑥ 航路及び航空路における人の往来に要する費用の低廉化に資する事業	交付率	6/10				
事業内容	奄美群島における割高な移動コストを軽減することにより、離島住民、準住民等の負担軽減を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	225,453	188,292	234,502		
		補正予算	▲ 43,328	▲ 84,876			
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	182,125	103,416	234,502	-	-	
	執行額	161,086	92,464				
執行率	88.4%	89.4%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	136千人	136千人	136千人 (中間目標値)		136千人 (最終目標値)	
	実績	125千人	63千人				
	達成度	91.9%	46.3%				
	達成状況の評価	【R元年度】 引き続き、多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。(台風による欠航増加やコロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。) 【R2年度】 奄美群島住民等の負担軽減が図られているが、コロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島交流需要喚起対策特別事業						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島の交流人口拡大に向けて、運賃等の移動コストの軽減に係る試験的取組等を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	228,179	221,599			
		補正予算	0	112,000			
		前年度繰越	0	0			
		翌年度繰越	0	0			
		その他増減	0	0			
		計	228,179	333,599	-	-	-
	執行額	210,777	316,389				
	執行率	92.4%	94.8%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数 対象路線における航路輸送旅客利用者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	-	-	(航空)422千人 (航路)148千人	-	(航空)450千人 (航路)151千人	
	実績	(航空)338千人 (航路)109千人	(航空)171千人 (航路)54千人				
	達成度	-					
	達成状況 の評価	【R元年度】	新型コロナウイルスの影響や、航空路では事業者の経営統合に伴い対象路線で一定期間の運休が生じたこともあり、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で減少(航空:86%, 航路88%)となったが、通年で447千人の交流が図られた。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で大きく減少(航空:51%, 航路50%)したが、通年で225千人の交流が図られた。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減や広報宣伝等に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島交流需要喚起対策特別事業（「奄美・沖縄」観光交流連携体制構築事業）						
担当部課	観光課	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」として一体の世界自然遺産登録を目指していることから、世界自然遺産地域内の自然資源の保全と持続的利用を考慮しながら、鹿児島・沖縄両県の連携によって域外からの観光客の一層の誘致を行い、両地域の観光振興を促進させる。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	6,400	6,400			
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	6,400	6,400	-	-	-	
	執行額	6,400	6,400				
執行率	100.0%	100.0%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標						
	実績						
	達成度						
	達成状況 の 評価	【R元年度】 共同でのイベント出展やWEB広告によるプロモーションの実施、モデルルートを紹介する冊子を作成する等、奄美・沖縄の周知と周遊促進が図られた。また、両県のエコツアーガイドの現地視察、意見交換会を行い、エコツアーガイドの交流が図ることができた。					
		【R2年度】 SNSを活用したキャンペーンやメディアタイアップにより、世界自然遺産候補地の情報発信や、ファムツアーの実施で、両地域を周遊した商品造成の促進が図られた。また、両県エコツーリズム関係者同士で今後の連携の在り方についての意見交換会を実施し、エコツーリズムを推進した。					
		【R3年度】					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	世界自然遺産登録後も、引き続き、沖縄県と連携し、共同でのプロモーション及び周遊促進等に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美・沖縄連携交流促進事業						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業		交付率	6/10			
事業内容	奄美群島と沖縄という歴史的・文化的につながりの深い両地域における調和ある振興のために、移動コストを軽減し、両地域の住民等の交流を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	79,119	63,859			
		補正予算	▲ 16,499	▲ 32,341			
		前年度繰越	0	0			
		翌年度繰越	0	0			
		その他増減	0	0			
	計	62,620	31,518	-	-	-	
	執行額	58,940	23,429				
	執行率	94.1%	74.3%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数 対象路線における航路輸送旅客利用者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	-	-	(航空)60千人 (航路)76千人	-	(航空)64千人 (航路)78千人	
	実績	(航空)74千人 (航路)62千人	(航空)36千人 (航路)22千人				
	達成度	-					
	達成状況 の 評価	【R元年度】	新型コロナウイルスの影響もあり、航路においては対象路線における利用者数は対前年度で減少(航空:104%, 航路94%)となったが、計136千人の両地域の交流が図られた。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で大きく減少(航空:49%, 航路35%)したが、計58千人の両地域の交流が図られた。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	農業創出緊急支援推進事業						
担当部課	農政部農政課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	—				
事業分類	農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美地域の食文化を支える伝統野菜や果樹の生産性向上を図り、供給力を高めるとともに、農家の所得向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予 算 の 状 況	当初予算	563	642			
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	563	642	-	-	-	
	執行額	553	606				
執行率	98.2%	94.4%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	① 奄美の伝統野菜 葉にんにくの生産性向上(単収増加) ② 奄美の島野菜 島らっきょうの生産性向上(単収増加) ③ 奄美プラム(カラリ)の生産性向上(栽培面積拡大)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	-	-	① 810kg/10a ② 700kg/10a ③ 700kg27ha	-	① 920kg/10a ② 900kg/10a ③ 700kg30ha	
	実績	-	① - ② - ③ 29.7ha	-	-	-	
	達成度	-	-	-	-	-	
	達成状況の評価	【R元年度】 ・葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖及び奄美プラム新系統の早期育成方法試験用の苗木植栽・各種調査、高品質果実生産技術検討のためのほ場選定等を行った。令和元年度については、アウトカム指標の実績となる数値なし。 【R2年度】 葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖、島らっきょうの優良系統の選抜を行った。アウトカムの実績となる数値なし。 奄美プラムは、台木に穂木を次いで363本植え付けた(2.0ha:18本/10aで積算)。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	葉にんにくについては、R3年度にウイルスフリー化した種球を現地供給。 島らっきょうについては、R3年度に系統選抜した種球をウイルスフリー化、R4年度に圃場にて増殖を行い、R5年度に現地供給。 奄美プラムについては、R4年度まで各種試験・調査を行い、R5年度にマニュアルを生産者等に配布。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	海洋世界遺産ロード構築事業(世界遺産「奄美・沖縄－屋久島」を結ぶ航路支援事業)						
担当部課	交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業		交付率	6/10			
事業内容	世界自然遺産を目指す「奄美・沖縄」と世界自然遺産登録地の「屋久島」間の周遊性を向上させるため、両地域を結ぶ航路の運航費に対し助成を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	8,400	8,400			
		補正予算	0	▲ 1,200			
		前年度繰越	0	0			
		翌年度繰越	0	0			
		その他増減	0	0			
		計	8,400	7,200	-	-	-
	執行額	7,502	5,554				
執行率	89.3%	77.1%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	屋久島寄港便の利用者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	600		1,200		1,800	
	実績	378	281				
	達成度	62.5%					
	達成状況 の評価	【R元年度】	支援の実施により、運航事業者は当初「乗船予約20名以上」としていた寄港条件を「1名以上」に引き下げ、寄港回数の増加につながっているところ。				
		【R2年度】	支援の実施により、寄港回数の増加につながっていたが、コロナの影響により、一部期間(令和2年4月17日～5月31日)が運行休止となり、対前年度で実績が減少している。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	R2年度末終了。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美パーク展示等リニューアル事業						
担当部課	観光・文化スポーツ部観光課	事業実施年度	令和元年度～令和4年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名					
事業分類	④観光客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島の観光・情報発信の拠点施設である奄美パークについて、世界自然遺産登録を見据えた改修を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	-	15,982			
		補正予算	120,000	153,983			
		前年度繰越	131,642	120,000			
		翌年度繰越	▲ 120,000	▲ 167,049			
		その他増減					
		計	131,642	122,916	-	-	-
	執行額	131,165	122,515				
	執行率	99.6%	99.7%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	宿泊観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標				810千人 (中間目標値)	824千人 (最終目標値)	
	実績	917千人	集計中				
	達成度	-	-				
	達成状況 の評価	【R元年度】	目標を達成しているが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
		【R2年度】	現在、奄美群島の宿泊観光客数は集計中である。奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	今年、奄美大島が世界自然遺産に登録され、情報発信拠点施設としてより重要な施設となることから、引き続き着実に事業の推進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハブ対策事業 (ハブ駆除対策事業)						
担当部課	くらし保健福祉部業務課	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	県	実施市町村名	奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・徳之島				
事業分類	⑦ ア	交付率	5/10				
事業内容	住民の安全な生活環境を確保するとともに、奄美大島世界自然遺産登録への取組等も視野に入れ、ハブの個体群調査と人との関わり合いを調査し、計画的なハブの駆除方法と、ハブの棲み分け(共存)を検討する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	3,820	3,846	3,410		
		補正予算		▲ 143			
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	3,820	3,703	3,410	-	-	
	執行額	3,718	3,415				
執行率	97.3%	92.2%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ハブ咬傷者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	55以下	55以下	45以下 (中間目標値)			
	実績	44	29	19			
	達成度	目標達成	目標達成				
	達成状況 の評価	【R元年度】	咬傷者数は44人で、目標を達成した。				
		【R2年度】	咬傷者数は29人で、目標を達成した。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	ハブ咬傷者数55人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハブ対策事業 (ハブ咬症対策事業)						
担当部課	くらし保健福祉部業務課	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	県	実施市町村名	奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・徳之島				
事業分類	⑦ ア			交付率	5/10		
事業内容	住人が安心して生活し活動するために、ハブの咬症及び治療対策に万全を期し、住民の保健医療の向上に寄与する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	17,098	4,347	1,302		
		補正予算	▲ 4,426	▲ 173			
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	12,672	4,174	1,302	-	-	
	執行額	12,518	3,953				
執行率	98.8%	94.7%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ハブ咬傷による死亡者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	0	0	0 (中間目標値)			
	実績	0	0				
	達成度	目標達成	目標達成				
	達成状況 の 評価	【R元年度】	ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
		【R2年度】	ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	世界自然遺産「奄美」保全・活用事業						
担当部課	環境林務部 自然保護課 奄美世界自然遺産登録推進室	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	県	実施市町村名	奄美群島一円				
事業分類	⑦ーエ 自然環境の保全及び再生に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美の世界自然遺産登録に向け、推薦地のみならず、その周辺も含めた自然環境の保全と利用の両立を図るための施策を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	110,977	135,754			
		補正予算	▲ 6,000	▲ 39,519			
		前年度繰越	64,960	52,260	45,328		
		翌年度繰越	▲ 52,260	▲ 45,328			
		その他増減					
	計	117,677	103,167	-	-	-	
	執行額	97,957	80,282				
執行率	83.2%	77.8%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標		①1箇所 ②115人			160人 (最終目標値)	
	実績	① 1箇所 ② 109人	①1箇所 ②133人				
	達成度	-	①100% ②115.7%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成のための検討・取組として、金作原などの推薦地域等での利用ルールの運用や奄美トレイルのルート選定・開通イベント、世界自然遺産登録の気運醸成を図るためのシンポジウム、IUCNの現地調査対応等を実施し、世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。				
		【R2年度】	世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成のための検討・取組として、金作原などの推薦地域等での利用ルールの運用や奄美トレイルの全線開通イベント（R3年1月全線開通）、世界自然遺産登録の気運醸成を図るため県庁前にPR看板設置、奄美空港にPR広告掲示等を実施し、世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き、奄美の世界自然遺産登録の実現及びその後の適切な保全・管理に向けて、遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立や気運の醸成など、必要な取組を推進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美自然観察の森整備事業						
担当部課	環境林務部 自然保護課 奄美世界自然遺産登録推進室	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	龍郷町				
事業分類	⑦ーエ 自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美・沖縄の世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据え、遺産地域への集中利用を避けるための気軽に奄美の森を体験できる施設として整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	117,410	108,000			
		補正予算					
		前年度繰越	116,794	117,410	69,640		
		翌年度繰越	▲ 117,410	▲ 69,640			
		その他増減					
		計	116,794	155,770	-	-	-
	執行額	116,794	155,770				
	執行率	100.0%	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美自然観察の森利用者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	17,000人 (中間目標値)		300,000人 (最終目標値)			
	実績	19,041人	3,830人				
	達成度	112%	-				
	達成状況 の評価	【R元年度】 ボードウォークの改修, 展望デッキ撤去・新設, トイレの新設, パノラマトリデの補修, 園路整備, バス駐車場の整備等を実施した。(前年度繰越予算) 整備工事は, 途中であるものの, 世界自然遺産の登録の気運が高まってきており, 気軽に奄美の森を体験できる施設として, 利用者数が増加し中間目標値を達成した。					
		【R2年度】 森の館(管理・展示施設)に係る敷地造成・建築・電気・機械設備・外構工事, アコウ観察路の新設, ドラゴントリデ(展望台)・四阿の補修, 水景施設(池, 流れ工)工事, 園路工事等を実施した。					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き, 令和3年度の完成を目指してリニューアル工事を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	水産資源利用開発調査						
担当部課	商工労働水産部水産振興課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	県	実施市町村名					
事業分類	⑦-オ 林業及び水産業の振興に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島の水産業振興を図るため、沿岸域で藻場造成や栽培漁業、ソデイカを効率的に操業するための技術開発試験や調査等を行うとともに、地域水産物の鮮度保持技術の開発や未・低利用資源の加工品開発のための調査等を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	6,207	4,040			
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	6,207	4,040	-	-	-	
	執行額	6,146	3,450				
執行率	99.0%	85.4%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	海面漁業の生産額					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標			10,329百万 (中間目標値)		10,382百万円 (最終目標値)	
	実績	7,635百万					
	達成度						
	達成状況 の 評 価	【R元年度】	海面漁業の生産額1,202百万円＋クロマグロ養殖生産量6,433百万(固定)であり、カツオ類等の漁獲減少やソデイカ等の不漁により基準値の約75%となった。				
		【R2年度】	※ 統計数値が示されていないため未掲載				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	地域特産種の資源増大や藻場造成、漁場予測技術の開発と効率的な操業支援に加え、未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	農業創出緊急支援事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村、営農集団等	実施市町村名	瀬戸内町外7町				
事業分類	② 農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10, 6/10	
事業内容	奄美群島の特性に即した農業振興のため、付加価値の高い農業の推進と、台風災害に強い施設等の整備を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	164,383	451,663			
		補正予算	456,499	40,753			
		前年度繰越	0	473,928	482,510	0	0
		翌年度繰越	▲ 473,928	▲ 482,510			
		その他増減	2,200				
		計	149,154	483,834	482,510	—	—
	執行額	141,386	351,694				
	執行率	94.8%	72.7%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:百万円]		39,052			40,636	
	実績 [単位:百万円]	30,188					
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	※統計数値が示されていないため達成度未定				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島流通効率化事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	与論町				
事業分類	②農業の生産性の向上に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	与論島への貨物船定期運航に向けて必要となる貨物コンテナ等の導入を支援する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	27,558	22,409			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	1			
		計	27,558	22,410	-	-	-
	執行額	5,471	22,410				
	執行率	19.9%	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	与論町における生産牛飼養頭数の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:頭]			5,450		5,500	
	実績 [単位:頭]	5,520	5,669				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	畜産農家数は減少しているものの、農家の規模拡大志向により、当初より大幅増頭となっている。				
		【R2年度】	令和2年度の飼養頭数は5,669頭であり、令和5年度の目標を上回る実績となった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	畜産農家数が減少傾向にあり、それに伴う飼養頭数の減少が懸念されるが、貨物船による安定した飼料供給を続け、飼養頭数の維持拡大を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ICT先進技術習得事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美市				
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	情報通信産業自体の振興や、その他各種産業の情報化による経済活動活性化や、生産性向上を図るための人材育成として「島外スキルアップ助成事業」及び「先進技術習得事業」を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	7,484	7,484			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	7,484	7,484	—	—	—
	執行額	7,177	6,612				
	執行率	95.9%	88.3%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①先進技術習得事業での研修受講者数 ②島外スキルアップ事業での研修受講者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		①180人 ②6人	①270人 ②9人			
	実績 [単位:人]	①115人 ②4人	①195人 ②5人				
	達成度		①108% ②83%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	事業撤退やコールセンター業務を行う企業の雇用人数削減から基準年度(H29年度)の760名から減少しているが、既存事業所の人員増や新規事業者も発生しており、目標に向けて進んでいる。				
		【R2年度】	全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響のなか、島外への渡航や各企業の活動が抑制され、特に島外スキルアップ事業の活用事業者が減少し、②については目標値に達することができていない。				
		【R3年度】					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	情報通信に携わる者に対して、ICTに関連した先進的な技術やサービスの活用方法を自発的に習得するための支援を、R3年度に整備したWorkStyle Labの活用を含め実施し、既存企業の雇用人数増加やフリーランスの事業主化を促進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島成長戦略ビジョン実現事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10, 6/10	
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョンに位置付けられた重点三分野(「農業」「観光／交流」「情報」)に、「文化」「定住」の二分野を新たに加え、奄美群島一体となった施策の展開を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	166,306	141,418			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	166,306	141,418	-	-	-	
	執行額	132,430	122,931				
執行率	79.6%	86.9%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	チャレンジ世代(20歳～44歳)人口					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			21,438		21,300	
	実績 [単位:人]	21,410	—				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	チャレンジ世代(20～44歳人口)は減少の一途をたどっている。令和5年度の目標達成するためには、奄美群島の産業振興を図ることで、人材の確保が必要である。				
		【R2年度】	国勢調査による年齢別人口が未公表のため未記載				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	ビジョン実現に向けた事業を積極的に展開していくことに加え、コロナ禍の影響を考慮しながら取組を検討していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島チャレンジ人材育成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョンに掲げた戦略の基本方策に基づき、民間主導型の新たな産業振興モデルを構築するための人材の確保、育成、教育を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	31,668	30,488			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	31,668	30,488	-	-	-	
	執行額	27,264	27,301				
執行率	86.1%	89.5%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島の自立的発展実現のため、民間企業等の主導による新たな産業振興モデル構築に繋がる起業家的人材及び新規商品・サービスの創出					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]		15			40	
	実績 [単位:件]	7	11				
	達成度		73%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	奄美群島民間チャレンジ支援事業で7件が採択された。 併せて、奄美群島スタートアップ支援実証事業で群島独自のクラウドファンディングサイトの構築・運営するための先進地視察を行った。				
		【R2年度】	民間チャレンジ：募集件数33件 採択件数11件 起業家人材育成：新規受講生10名 奄美群島でシゴトを創るゼミを開催 スタートアップ支援事業：クラウドファンディングサイト「FAAVO奄美群島」を開設 (6件起案、調達金3,545,100円)				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	人材育成成果発表会						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が自らの受講体験を広く地元住民等に対して語る(プレゼンする)機会を創出することにより、次年度以降の事業参加者の掘り起こしを行うとともに、参加者間の連携の促進や認知度の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	3,600	4,180			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	93			
	計	3,600	4,273	-	-	-	
	執行額	3,600	4,273				
執行率	100.0%	100.0%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島の自立的発展実現のため、民間企業等の主導による新たな産業振興モデル構築に繋がる起業家的人材及び新規商品・サービスの創出					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]		15			40	
	実績 [単位:件]	7	11				
	達成度		73%				
	達成状況の評価	【R元年度】 龍郷町において人材育成成果発表会を開催された。7名の話し手が自らの受講体験等を発表した。併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、6社が出店した。約150名参加。 【R2年度】 伊仙町において人材育成成果発表会を開催した。7名が自らの体験等を発表。併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、4社が出店。約80人が参加。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	次年度以降も広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が、自らの受講体験を広く地元住民等に対して語ることで新たな人材の掘り起こしを図る。併せて、広域事務組合の実施する人材育成事業認知度の更なる向上を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島観光物産広域連携事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島の観光交流人口増加に向けた一般消費者への旅行喚起施策とあわせて、キャリア及び旅行会社と連携した旅行商品造成活性化施策及び物産面のブランディングを積極的に展開し、観光来訪の促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	78,628	51,061			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	78,628	51,061	—	—	—
	執行額	49,954	37,293				
執行率	63.5%	73.0%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		359,780			386,251	
	実績 [単位:人]	391,969	301,523				
	達成度		84%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	奄美群島への入込客数が年々増加している状況である。今後、観光来訪の促進を図る。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により旅行客が大きく減少している。減少した客数の回復のためにも、来訪の推進が必要。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向けた旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	UIOターン支援体制構築事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島における、人口流出及び高齢化による経済規模の縮小及び産業衰退への対応策として、奄美群島への人材の呼び込み促進に繋がる官民一体となった支援体制の構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	5,169	4,279			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	5,169	4,279	—	—	—
	執行額	4,577	3,321				
	執行率	88.5%	77.6%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	R1～R5年度の移住体験事業参加者のうち、移住した者の数の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			25		43	
	実績 [単位:人]	9	4				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	令和3年度の目標のうち36%を達成している為、令和元年度の目標は達成されていると考えられる。				
		【R2年度】	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和元年度の実績の半分しか満たしておらず、令和3年度の間目標を達成させるための対応を検討しなければならない。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	移住者・交流人口増加のため、都市部の移住・交流フェアなどへの参加やネットワークを利用したオンライン相談会など、社会情勢も考慮した方法で奄美群島の定住促進のために力を入れていきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島エコツーリズム推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業		交付率	5/10			
事業内容	奄美群島における地域資源の保全と適正な管理を行い、地域が主体となって持続可能な観光形態を構築し、「環境保全」「地域振興」「観光振興」のバランスのとれた発展を目指すエコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	18,389	23,275			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	18,389	23,275	—	—	—	
	執行額	18,148	23,243				
執行率	98.7%	99.9%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイドの増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		115			160	
	実績 [単位:人]	109	133				
	達成度		116%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:24名)				
		【R2年度】	奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:24名)				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	世界自然遺産へ登録され、今後もエコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図るとともに、自然観光資源のモニタリングについて運用を本格化し、人為的影響による資源の状態の変化等を把握する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島地域通訳案内士育成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	近年の奄美群島の認知度の拡大及び、大都市圏国際空港からの直行便就航による交流人口の多様化に対応した受入体制の構築を図るため、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士を育成する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	19,434	18,084			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	19,434	18,084	—	—	—
	執行額	19,279	17,699				
	執行率	99.2%	97.9%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		153			186	
	実績 [単位:人]	129	129				
	達成度		84%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	奄美群島各島において地域通訳案内士育成研修を開催し、奄美群島地域通訳案内士の育成を図った。(英語:20名/中国語:2名)				
		【R2年度】	地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】40名(英語28名、中国語12名)				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	今後も世界自然遺産登録を見据え、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士の育成を推進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美らしい滞在型・着地型観光推進事業(GTFS整備)						
担当部課	—	事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島内のバスやフェリー等の公共交通機関を利用する観光旅客の利便性の向上を図るため、「標準的なバス情報フォーマット(GTFS)」を活用し、時刻表などの運行情報をスマートフォンなどで検索できるよう、Google等の経路検索サービス提供者に情報提供を行う仕組みを整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		526			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	—	526	—	—	—	
	執行額		518				
執行率	—	98.5%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		359,780			386,251	
	実績 [単位:人]		301,523				
	達成度		84%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	群島内の公共交通機関(バス)へ作成したデータを提供済み。令和3年度10月現在、Googleマップにて「島バス(奄美大島)」の情報が確認出来る。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	Google等経路検索サービス提供者との契約は各公共交通機関がそれぞれ行う必要があるため、本事業は作成したデータの提供をもって終了。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島観光プロモーション動画制作事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和2年度～令和4年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島観光物産協会や各島観光連盟・協会といった観光事業者との連携により、訴求効果の高い群島全体の観光PR動画を制作する。また、デジタルマーケティングにより、観光客のターゲット設定を行うことで、奄美群島への更なる観光誘客拡大を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算		1,188			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		—	1,188	—	—	—
	執行額			966			
執行率		—	81.3%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		359,780			386,251	
	実績 [単位:人]		301,523				
	達成度		84%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	奄美群島の自然・文化といった観光資源を活用したプロモーション動画を制作するため、有識者と共に各島の景勝地等を視察し、12市町村、地元有識者と協議の上、撮影候補地を選定した。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	動画広告を配信することで得られる視聴者の属性(年代、性別、国)、興味等を把握・分析。分析データによりターゲットに応じた施策検討を行い、より効果的なプロモーションを図ることで認知度向上につなげる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	戦略的情報発信支援事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和2年度～令和4年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業	交付率	6/10				
事業内容	近年の奄美群島の注目度増大の機会を捉え、大手デジタルメディア事業者、群島内情報事業者と連携し群島の情報発信を行いつつその効果性を調査することで、戦略的な情報発信やマーケティングを展開するスキルを備えた民間事業者の育成を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算		8,337			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計		—	8,337	—	—
	執行額			8,317			
執行率			99.8%				
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①広告の効果性(注目度) ②広告の効果性(誘導率) ③事業者の情報発信力の向上率					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:①②回 ③%】	①0回 ②0回 ③0%		①100,000回 ②1,000回 ③70%		①150,000回 ②1,500回 ③80%	
	実績 【単位:①②回 ③%】		①293,892 ②3,233 ③70%				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	yahooスポンサードコンテンツを活用し8記事を掲載した。全記事の総PV数は293,892回となった。スキルアップ研修については、群島各島において実施(民間事業者32名参加)				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	群島内情報発信事業者と大手デジタルメディアの連携による訴求力の高い情報発信を行いつつ、民間事業者の情報発信スキルアップを図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光拠点連携整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美市外7町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光レクリエーション施設等の園地整備等を実施し、観光客の周遊を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	157,362	481,275			
		補正予算	76	2,018			
		前年度繰越	325,174	399,832	328,076	0	0
		翌年度繰越	▲ 399,832	▲ 328,076			
		その他増減	0	3,578			
		計	82,780	558,627	328,076	—	—
	執行額	460,298	556,733				
	執行率	556.0%	99.7%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		887,895			950,000	
	実績 [単位:人]	891,351	517,192				
	達成度		58%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	コロナ禍により入込客数が大幅減となったことから目標を達成できていない。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	コロナ禍の影響により入込客数が減少したが、アウターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美海洋展示館リニューアル事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美の自然や観光、道路等の防災情報を伝える施設のリニューアルを推進することで、奄美大島全体をテーマパークと見立てた各種施設とフィールドの連動プログラムを創出し、地域全体を観光産業フィールドとして地域の稼ぐ力の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		160,114			
		補正予算					
		前年度繰越		0	116,868	0	0
		翌年度繰越		▲ 116,868			
		その他増減					
		計	-	43,246	116,868	-	-
	執行額		43,245				
	執行率	-	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	利用者アンケート項目「施設・サービス内容」の大変満足度					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:%]			70			
	実績 [単位:%]		61				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	R3年度へ繰越し				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	展示室のリニューアルを完成させ、施設の更なる魅力度向上や利用者の満足度向上を図る。また、他施設への回遊を促す仕組みづくりを強化し、更なる観光振興へと繋げる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	あやまる岬エリア整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美市北部地域の貴重な観光資源である「あやまる岬観光公園」を拠点とした観光ルートの確立情報発信,休憩,老朽化施設等の整備・拡充を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	30,440	30,611			
		補正予算	31,112				
		前年度繰越	0	31,082	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 31,082				
		その他増減	0				
		計	30,470	61,693	—	—	—
	執行額	21,254	61,693				
	執行率	69.8%	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	あやまる岬観光公園来園者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		118,000		120,000		
	実績 [単位:人]	118,475	56,370				
	達成度		48%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	令和元年度において令和2年度目標値を上回り着実に事業効果が上がっている。令和2年度についてはコロナの影響により実績低下の見込み				
		【R2年度】	令和元年度実績において、令和2年度目標を達成していたが、新型コロナウイルスの影響により令和2年度の実績は減少				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	令和4年度で観光整備が終了予定のため、ソフト事業の拡充にシフトし周遊型観光の振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	アマミノクロウサギ飼育展示施設整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	アマミノクロウサギ飼育展示施設の整備等を実施し、受入体制の強化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	7,083	60,400			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	56,000	0	0
		翌年度繰越	0	▲ 56,000			
		その他増減	0				
		計	7,083	4,400	56,000	—	—
	執行額	7,083	4,400				
	執行率	100.0%	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美野生生物保護センター来館者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]	15,000				20,000	
	実績 [単位:人]	10,484	7,284				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	施設整備の目的について文化庁、環境省と事前協議を行い、整備について概ね了承を得た。また、クロウサギについての有識者会議を開催し基本方針について検討した。				
		【R2年度】	有識者会議を開催し、「大和村アマミノクロウサギ研究飼育施設(仮称)設置運営に係る基本計画」を策定した。それに基づき、ポーリング調査及び建築実施設計をR3年度にかけて実施中。				
		【R3年度】					
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	基本計画に基づき、建築実施設計を進めていく。併せて、展示設計については1回目のプロポで業者選定されなかったため、2回目を実施し業者を選定する。両者の設計については、適宜有識者からの意見聴取及び関連法令についても所管機関に確認し進めていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美フォレストポリス再整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	世界自然遺産登録を見据え、奄美フォレストポリスを再整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	0	3,600			
		補正予算	67,586				
		前年度繰越	94,506	67,586	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 67,586				
		その他増減	290				
		計	94,796	71,186	—	—	—
	執行額	94,796	71,110				
	執行率	100.0%	99.9%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美フォレストポリスへの入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		25,000				
	実績 [単位:人]	14,711	12,598				
	達成度		50%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	観光者かき入れ時の夏場にLCC航空会社の奄美路線の停止期間があり客足が伸び悩んだ。奄美フォレストポリス再整備は半ばであり、今後の入込客数の更なる増加につながるよう着実な事業推進を図っていく。				
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響で島外の観光客の激減により来園者、宿泊者が落ち込んだ。また世界遺産登録も延期となったが、村によるマイクロツーリズムの推進したことにより、宿泊者数は増加へ転じることもあり、アフターコロナを見据え、より一層推進を図る予定としている。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き世界自然遺産登録後の観光客増加も見据えた計画的な奄美フォレストポリス園地全体の再整備を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	湯湾岳周辺整備事業						
担当部課		事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	国立公園特別保護地域である湯湾岳の展望台周辺施設整備等を実施し、観光客増加への対応を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算		17,800			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減		2,000			
		計	-	19,800	-	-	-
	執行額		19,800				
	執行率	-	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	湯湾岳公園への年間来訪者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			6,000		6,500	
	実績 [単位:人]		3,729				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	再整備工事において通行止を行ったため、実績値の大幅な減となった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	すべての関連事業が完了したため、令和3年度以降は来訪者が大幅に増加すると考えられる。今後も情報発信や施設の管理を徹底し、目標達成へとつなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	秋名地区「環境文化の学び舎」整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	龍郷町	実施市町村名	龍郷町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	国立公園普通地域である秋名集落と鹿児島大学が連携し、「環境文化の学び舎」となる施設を整備する。「生態系管理の学び舎」である奄美自然観察の森整備と併せて、「自然とのつながりを感じるシマの暮らし」を観光資源として交流人口増加を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		8,000			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	8,000	—	—	—
	執行額		6,457				
	執行率	—	80.7%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	「環境文化への学び舎」来館者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		0			6,000	
	実績 [単位:人]		0				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症の影響で大学との連携事業が実施できなかったが、数度の住民意見交換会を踏まえ、基本実施設計を実施した。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	令和3年度に本体工事着工・完了、供用を開始。奄美群島国立公園地域に含まれる同地区の秋名集落において、奄美群島国立公園の特徴のひとつである「環境文化」を表現し発信する施設として観光振興に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和城観光地連携整備事業						
担当部課	商工水産観光課	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	見晴らしの良い絶景ポイントとなっている大和城の周辺整備等を実施し、観光客等の利便性向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	63,500	46,000			
		補正予算	30,500				
		前年度繰越	0	30,500	25,440	0	0
		翌年度繰越	▲ 30,500	▲ 25,440			
		その他増減	0	16			
		計	63,500	51,076	25,440	-	-
	執行額	63,500	51,075				
	執行率	100.0%	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			130,000		132,000	
	実績 [単位:人]	142,734	80,480				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	後年度の目標値まで達成したことは評価できる。しかし整備は半ばであるため、今後も入込客数の更なる増加につながるよう事業推進を図るとともに世界自然遺産登録を見据えた環境と自然に配慮した事業推進を図る。				
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度実績を大きく下回ったが、アフターコロナを見据え、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	入込客数の更なる増加につながるよう、環境整備や観光地PR等の強化を図るとともに、世界自然遺産に登録されたことを踏まえ、環境と自然に配慮した事業推進を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	瀬田海海浜公園休憩施設整備事業						
担当部課	きゅらまち観光課	事業実施年度	令和2年度				
事業主体	伊仙町	実施市町村名	伊仙町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	瀬田海海浜公園の休憩施設整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		27,000			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	27,000	-	-	-
	執行額		26,990				
	執行率	-	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]		887,895			950,000	
	実績 [単位:人]		514,862				
	達成度		58%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	コロナ禍であったが58%の達成状況であった。				
		【R3年度】					
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	今後は世界自然遺産の登録もあり、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	湯湾地区観光総合案内所整備事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	観光総合案内所の機能を有した施設を整備し、村の自然環境の特性を生かした体験プログラムを提供し、村民と観光客との交流の場を提供するなど、奄美らしい観光スタイルの構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算		97,250			
		補正予算					
		前年度繰越		0	97,250	0	0
		翌年度繰越		▲ 97,250			
		その他増減					
		計	-	0	97,250	-	-
	執行額						
	執行率	-	-	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	湯湾地区観光総合案内所への年間来訪者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]	0	2,000			6,000	
	実績 [単位:人]		0				
	達成度		0%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	建設予定地変更等により事業計画を再検討したことから、事業繰越となったため、目標を達成することができなかった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	令和3年度については、施設整備を完了させ、来訪者増へとつなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	天城岳登山道周辺整備事業						
担当部課	企画財政課	事業実施年度	令和2年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	天城岳登山道入口付近に駐車場, トイレ等を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算		30,500			
		補正予算					
		前年度繰越		0	30,500	0	0
		翌年度繰越		▲ 30,500			
		その他増減					
		計	-	0	30,500	-	-
	執行額						
	執行率	-	-	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			130,000		132,000	
	実績 [単位:人]		80,480				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が大幅に減少した。用地交渉に不測の日数を要したため、全額を翌年度へ繰越。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	世界自然遺産に登録されたことを踏まえ、環境と自然に配慮した事業推進を行う。環境省が整備する登山道と一体的にPRし、滞在型観光の促進に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光施設機能強化事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光客満足度向上を図るため、観光地でのトイレの洋式化を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算					
		補正予算		1,418			
		前年度繰越		0	1,418	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,418			
		その他増減					
		計	-	0	1,418	-	-
	執行額						
	執行率	-	-	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足シェア)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:%】	64		66			
	実績 【単位:%】		60				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	事業計画の再検討により繰越事業となったため、実績値減に影響したと推測される。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	令和3年度については、和式のままとなっている村内観光地トイレの洋式化をすすめ、目標とする満足度向上へとつなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光看板設置事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	伊仙町	実施市町村名	伊仙町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光地への誘客に資する観光看板を設置し、観光客の利便性向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算					
		補正予算		600			
		前年度繰越		0	600	0	0
		翌年度繰越		▲ 600			
		その他増減					
	計	-	0	600	-	-	
	執行額						
執行率	-	-	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			130,000		132,000	
	実績 [単位:人]		80,480				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	コロナ禍により入込客数に影響がでたものの中間目標に対して61%の達成率であった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	今後は世界自然遺産の登録もあり、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	内海公園自由広場整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美市住用地区の内海公園自由広場内の休憩施設等の整備及び安全対策を実施することにより、同公園及び周辺施設の利用者数の向上を図り、当該地区を地域観光の拠点とする。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	13,792				
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	13,792	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 13,792				
		その他増減	0	208			
		計	0	14,000	—	—	—
	執行額	0	14,000				
	執行率	—	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	整備を行う内海公園自由広場の他、隣接する三太郎の里、農林産物加工センター、木工センターの利用者数を含めた、内海周辺エリア全体の施設利用者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			13,000		15,000	
	実績 [単位:人]	16,962	24,221				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	内海公園自由広場において整備を行っていた遊具の設置工事が繰り越しとなったため、同事業についても翌年度へ繰越を行った。				
		【R2年度】	内海公園自由広場遊具設置工事完了に伴い、パーゴラ、ベンチ、転落防止柵等の整備を行ったことで、より安全かつ利用満足度の高い施設となった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	R2年度7月完成。今後は、当該地区の観光拠点としての活用を推進していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	マングローブパーク駐車場整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	「黒潮の森マングローブパーク」は世界自然遺産登録時にはコアゾーン中心位置にある。同施設の駐車場収容台数を拡充する事により、訪れる観光客へのサービス向上を目指し、観光拠点としての充実を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	57,124				
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	57,124	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 57,124				
		その他増減	0				
		計	0	57,124	—	—	—
	執行額	0	57,124				
	執行率	—	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	マングローブパークの利用者数 (カヌー+資料館)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			45,000		50,000	
	実績 [単位:人]	36,602	15,072				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	R2年度へ繰越				
		【R2年度】	普通車80台, 大型車6台, 身障者用4台分の駐車スペースを増設し, 従来の約2倍の駐車が可能となったことで, キャパシティ不足の問題が解決した。しかしながら, コロナウイルス感染症にかかる観光客の減少や, 施設閉館等の影響で利用者は大きく減少した。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	R3年3月に完成。今後の島内唯一の道の駅として観光・教育・サービスエリアとしての機能増進につなげていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	国直うみがめ公園整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	国直うみがめ公園の園地整備等を実施し、観光客受入体制の強化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	13,447				
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	13,447	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 13,447				
		その他増減	0	440			
		計	0	13,887	—	—	—
	執行額	0	13,887				
	執行率	—	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	体験事業による年間受入人数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			1,200		1,500	
	実績 [単位:人]	1,010	2,096				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	地元との調整に時間を要したため、測量設計業務のみの実施となったが、令和2年度において園地整備を行う。				
		【R2年度】	舗装・植栽・照明灯・小規模遊具の設置を行ったが複合遊具等は未設置であり、次年度継続して整備推進を図る。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	「国直ウミガメ公園」を継続的に整備することにより、乳幼児や低年齢の子どもが楽しめる環境をつくることで、家族連れの観光客等への誘客促進を図っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	湯湾岳展望台整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	国立公園特別保護地域である湯湾岳の展望台周辺施設整備等を実施し、観光客増加への対応を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	135,898				
		補正予算	0				
		前年度繰越	65,000	135,898	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 135,898				
		その他増減	131	602			
		計	65,131	136,500	—	—	—
	執行額	65,131	136,500				
	執行率	100.0%	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	湯湾岳公園への年間来訪者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			6,000		6,500	
	実績 [単位:人]	6,757	3,729				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	LCC効果による観光客増加のため湯湾岳公園への来訪者も増加したと考えられ、令和5年度の目標値を上回る実績値となった。				
		【R2年度】	再整備工事において通行止を行ったため、実績値の大幅な減となった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	すべての関連事業が完了したため、令和3年度以降は来訪者が大幅に増加すると考えられる。今後も情報発信や施設の管理を徹底し、目標達成へとつなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	加計呂麻芝集落海水浴場トイレ・シャワー施設整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	加計呂麻島は観光客が増加傾向にあり、トイレ・シャワー施設を設置することにより、観光客等の利便性を高める。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	28,000				
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	28,000	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 28,000				
		その他増減	0	308			
		計	0	28,308	—	—	—
	執行額	0	28,308				
	執行率	—	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	加計呂麻島を訪れる観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			57,132		64,192	
	実績 [単位:人]	46,736	38,832				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】 R2年度へ繰越					
		【R2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止等の影響で、昨年度比83.1%の38,832人となった。					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	施設整備を行ったことで芝集落海水浴場の利便性が良くなっており、観光協会等を通じて積極的な情報発信を行うことで、観光客受入増加を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	なごみの岬公園休憩施設整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光客等へ対応したイベント及びレクリエーションの場の整備として、奄美トレイル徳之島町コースに不足している休憩施設の整備・拡充を行い、交流人口拡大を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	22,403				
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	22,403	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 22,403				
		その他増減	0				
		計	0	22,403	—	—	—
	執行額	0	22,143				
	執行率	—	98.8%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	団体利用希望者の申請件数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]			35		65	
	実績 [単位:件]	0	6				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	町単独費用による既存施設の解体。				
		【R2年度】	設計監理委託 期間:R2.4.28~R2.12.15 休憩施設整備工事 期間:R2.7.17~R2.12.15				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	休憩施設が整備されたことにより、施設利用者が増えることが予想される。今後は施設の周辺整備を検討していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光拠点連携情報発信事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	あまみ大島観光物産連盟	実施市町村名	奄美大島5市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島の各観光拠点について、連携したPR・情報発信を実施し、観光客の周遊を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	10,000	10,000			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	10,000	10,000	—	—	—
	執行額	10,000	10,000				
	執行率	100.0%	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:%]	64	66				
	実績 [単位:%]	59	62.2				
	達成度	92.1%	94.2%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	満足度調査の項目で、「交通:二次交通や特産品:お土産」への不満意見が多く、離島がゆえに全体の目標達成に至っていない。				
		【R2年度】	前年度と比較し全体満足度含む8項目で満足度がやや向上しておりコロナ禍においてもホスピタリティの水準を落とすことなくサービスの提供を行えた。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	満足度調査の項目(宿泊・食事・お土産・交通・観光施設・自然景観・ホスピタリティ)ごとに、分析、合同専門委員会をとって情報の共有を図り改善に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美らしい観光スタイル構築推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	世界自然遺産登録後に増加する国内外の観光客に対応するために、誘客及び受入体制の強化を図る。 ・誘客・受入体制強化事業 ・インバウンド受入支援 ・旅行商品造成事業						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	41,025	14,767			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	41,025	14,767	—	—	—	
	執行額	35,056	14,767				
執行率	85.5%	100.0%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア) ②島の健康資源を活かした旅行商品造成数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:①%②]	①64% ②0件	①66% ②2件	①68% ②4件			
	実績 [単位:①%②]	59	①62.2% ②0件				
	達成度	92.1%	①94.2% ②0%				
	達成状況 の評価	【R元年度】 キャッシュレス対応や二次交通パンフレットなど課題とされていた受け入れ態勢に取り組んだところである。アンケート調査による奄美観光への大変満足と回答した割合は59%であり、目標には到達していないが、引き続きアンケート等から把握する奄美の魅力を活かし、課題の克服に取り組むべきである。 【R2年度】 島の健康資源を活かした旅行商品造成事業として、奄美大島の健康資源の調査、健康体験プログラムの作成、セラピスト養成講座及び販促ツール(パンフレット)制作を実施した。しかし新型コロナウイルスの影響により施設の閉鎖、島内限定利用期間などもあり、旅行商品を造成し販売するに至らなかった。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	令和元年度末からコロナ感染症の影響を大きく受けている状況であるが、コロナ禍の状況にあっても感染防止と地域経済の両立に向け、世界自然遺産登録にも注視しながら、地元事業者、DMO等と連携して安全・安心な奄美観光に柔軟に取り組んでいく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和村集落まるごと体験事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島への誘客促進を目的として、集落をフィールドとした島暮らし体験や島人との交流を軸とした奄美らしい観光地づくりの取組に対し、支援を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	33,000	8,000			
		補正予算					
		前年度繰越	0	25,000	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 25,000				
		その他増減	0	111			
		計	8,000	33,111	—	—	—
	執行額	8,000	33,111				
	執行率	100.0%	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①体験事業による受入人数 ②奄美らしい観光プログラム数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:①人②]	384	①2,000人 ②60件	①2,500人 ②85件		①3,000人 ②100件	
	実績 [単位:①人②]	1,010	①2,096人 ②70件				
	達成度	263%	①105% ②117%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	大和村観光メニューの創出や事業者の育成・確保、誘客効果をもたらすイベント開催が定着しつつあり、良好な流れが生まれている。				
		【R2年度】	コロナ渦という非常に観光事業者にとっては非常に厳しい社会環境であったが、島内需要喚起を活発に行った結果、目標値を達成することが出来たとともに島内在住者のリピーターの確保という側面も生まれ、アフターコロナでの更なる交流人口の増加が期待される。 また、ウミガメ公園整備を行うための測量・設計業務及び土地の造成工事等を行い、令和3年度完成に向けて整備を推進し、完成後には観光滞留時間の向上が期待される。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	島内リピーター獲得により、島内在住者に対しても「大和村観光」が十分にPR出来たものと考えており、この良好な流れをコロナ収束後の島外観光客の確保に努めることを目的に更なる観光外貨獲得に向けて体験メニューのブラッシュアップ及び宿泊事業者の量的・質的確保を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	瀬戸内町旅行商品造成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美せとうち観光協会と連携し、体験メニューツアーを利用する観光客を対象にプレミアム分を付加した利用券を販売するとともに、購入者にアンケートを実施し、体験メニュー提供者にフィードバックすることで、新規メニューの開発や既存メニューのブラッシュアップを図り、エコツアーガイドも巻き込みつつ、観光客の増加・定着を目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	3,000	3,000			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	3,000	3,000	—	—	—	
	執行額	2,999	2,999				
執行率	100.0%	100.0%	—	—	—		
成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①瀬戸内町への年間の入込客数 ②観光メニュー参加者数 ③新規観光メニュー開発数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:①②人③件]	140,000	①140,000 ②600 ③2	①150,000 ②650 ③5			
	実績 [単位:①②人③件]	150,081	①93,660人 ②295人 ③2				
	達成度	107.2%	①67% ②49% ③100%				
	達成状況の評価	【R元年度】 目標を達成した。昨年度は前年度比500名程度の伸びであったが、本事業を行った今年度は6,000人の伸びとなった。 【R2年度】 ①②についてはコロナの影響で目標を大きく下回ったが、③についてはアクティビティ関連のメニューを目標数開発できた。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	計画通り今年度(R3)まで本事業を実施し、魅力的な観光商品の開発や既存メニューのブラッシュアップを行い入込客の増による観光業の活性化を図る。併せてコロナ感染症対策を万全に整えて、安心・安全な観光スタイルを構築する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	環境文化型体験・交流事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	龍郷町	実施市町村名	龍郷町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	秋名・幾里集落において、両集落ならではの体験・交流観光事業として、両集落の民家を活用した民泊などの地域住民主体の観光事業活動を支援する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	130,000	5,000			
		補正予算	0				
		前年度繰越	4,644	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	52,093				
	計	186,737	5,000	—	—	—	
	執行額	186,737	2,147				
執行率	100.0%	42.9%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	秋名・幾里地区における体験プログラムの延べ参加者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			200		250	
	実績 [単位:人]	374	70				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	同事業によりH30年度に空き家を活用して整備したゲストハウスがR元年度から稼働し、家族連れや学生グループの利用者が多かったため、目標達成につながった。				
		【R2年度】	アクティビティ実践モニターツアーのほか、飲食メニューの開発等を複数回開催。新型コロナウイルス感染症の影響で施設オープンが遅れ、事業に大きな影響が出た。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	民泊窓口の機能強化と民泊事業の横展開(新規参入家屋の改修と民泊事業者の人材育成)を図り、近隣施設等との連携強化も推し進める。また、インターンシップの受入など関係人口の創出を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	喜界町旅行商品造成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	喜界島観光物産協会と連携してプレミアム付き体験メニュー利用券を販売し、購入者のアンケート結果を体ニュー提供者にフィードバックすることで、五感で喜界島を感じることができる新しいメニュー開発や既存メニューのブラッシュアップ等を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	2,061	6,214			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	156			
		計	2,061	6,370	—	—	—
	執行額	169	6,370				
執行率	8.2%	100.0%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①喜界島への年間の入込客数 ②観光プログラム参加者数 ③奄美らしい観光プログラム数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:①②人③件]			①65,000 ②200 ③22		①70,000 ②350 ③25	
	実績 [単位:①②人③件]	59,634	①45,848 ②232 ③16				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】 平成29年度より約6万人で横ばいが続いている。島のPR活動等を強化し入込客の増加を図りたい。 【R2年度】 コロナの影響で入込客数が減少しているが、好評で増刷も行った。さらなる入込客の増加を図りたい。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	令和2年度はコロナの影響により、入込客数は減少しているが、販売は好評であった。今回は来島目的がビジネスが大半を占めている現状がわかったのでアクティビティの種類を増やすことや内容の充実化が必要だと感じる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン戦略的交流促進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	観光協会や旅行会社とも連携し、旅行客が島内の飲食店や体験プログラム等に利用できる地域商品券を付与し、購入者にアンケートを実施して体験メニュー提供者にフィードバックすることで、新規メニューの開発や既存メニューのブラッシュアップを図り、旅行客の増加による地域活性化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	8,000	10,000			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	8,000	10,000	—	—	—	
	執行額	8,000	4,686				
執行率	100.0%	46.9%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:①②人③件]			①80,000人 ②10,000人 ③5件		①90,000人 ②11,000人 ③10件	
	実績 [単位:①②人③件]	69,332	①34,358人 ②3,031人 ③2件				
	達成度						
	達成状況の評価	【R元年度】 地域商品券の付与やPR活動等の成果もあり、バスツアー等をはじめとした本部港からのフェリーを利用した来島者が増加傾向にある。 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来島者数も大幅に減ったため当初予定していた目標を達成出来なかった。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	関係自治体とも連携しながら沖縄島北部地域と連携した広域観光ルートの構築を図りつつ、奄美大島や徳之島地域からの島づたいの誘客を図るため、当該地域にも地域商品券の設置やPRを行っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島地域資源活用事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	星空等をテーマに全国から関係団体を誘致してイベントを開催。また、広告宣伝等のプロモーションを実施し、広く全国に情報発信を行うことで、星空ツーリズム等の新しい客層及び新規旅行者の誘客による入込増客を図るとともに、大気環境や自然環境保全の機運を高め持続可能な観光発展を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算		8,000			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	8,000	-	-	-
	執行額		5,900				
	執行率	-	73.8%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:①②人③件]			①80,000人 ②10,000人 ③5件		①90,000人 ②11,000人 ③10件	
	実績 [単位:①②人③件]		①34,358人 ②3,031人 ③2件				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響によりイベント開催や誘客を図ることができなかった。一方でコロナ収束後を見据えたガイド育成、より美しい星空を見るため防犯灯の改良などの光害対策や住民の意識高揚を図るための観望会などを開催した。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	ツアーを実施する星空ガイドの育成やツアー造成を図るとともに、観光協会に総合窓口を整備する。また、新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、小規模な星空イベントや各種媒体を活用した情報発信、ファミトリップやモニターツアーの実施により誘客を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島来訪機会創出事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	ヨロン島の認知度を向上させ、イメージ戦略によりヨロン島の自然や文化といった魅力をより多くの人に伝えるために、島内の映像クリエイター等と連携して発信力の高い動画を制作するとともに、デジタルマーケティングによる情報分析を行い、ターゲット層の明確化を図り、魅力ある旅行商品造成による観光客の増加を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	27,088	36,000			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	27,088	36,000	—	—	—	
	執行額	24,749	34,105				
執行率	91.4%	94.7%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:①②人③件]			①80,000人 ②10,000人 ③5件		①90,000人 ②11,000人 ③10件	
	実績 [単位:①②人③件]	69,332	①34,358人 ②3,031人 ③2件				
	達成度						
	達成状況の評価	【R元年度】 昨年度制作した「Yoron8K」を見て与論に興味を持った視聴者がより具体的に旅行を考えるよう、与論旅行のしかた、現地情報をまとめた動画の制作や、全編与論島ロケのドラマを制作・放映した。 【R2年度】 Yoron 8Kを踏まえた上でよりプロモーション力が高く、体験が想起できる動画を制作、YouTube配信・広告などのデジタルマーケティングを実施。また、日本国際観光映像祭と連携し、冬の与論島を舞台とした観光動画4本の制作や、観光事業者による与論島情報発信力を高めるための撮影セミナーを実施。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	YouTube配信による視聴回数が4本で1,800万回再生超や制作した動画の海外での映像祭受賞など、デジタルマーケティング等による効果があったが、新型コロナウイルスの影響により来訪客数が大幅減となったため、実際の来島に繋がったかが不透明となった。令和3年度まで新型コロナウイルスの影響は続くため、引き続き感染症の各大状況を注視しながら進めていきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島ウェルネスプログラム商品造成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	ヨロン島の恵まれた自然環境と島人の優しさを活用し、地元のヨガインストラクターや飲食店、地域おこし協力隊等を巻き込みながら、旅行者に対して「癒やしと健康」を提供する体験プログラム・旅行商品造成や実施ガイドの人材育成及び受入体制の構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	2,000	2,500			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	2,000	2,500	—	—	—	
	執行額	2,000	1,908				
執行率	100.0%	76.3%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	プログラムコースメニュー開発数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]			5		10	
	実績 [単位:件]	1	2				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】 エssenシャルオイルづくり体験やSUPヨガ等、複数のウェルネス体験メニューを組み合わせたモニターツアーを実施し、各メニューの実証実験ができた。 【R2年度】 関係事業者との連携体制を構築しつつ、人材育成講習等を実施した。また、地元食材を活用したウェルネス対応食事メニューの開発を行った。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	ウェルネスプログラム実施のための人材育成を行うとともに、「頑張る女性」をメインターゲットとした各客層を対象にモニターツアーを行い、ウェルネス体験メニューを磨き上げ商品を造成する。同時に、体験のイメージ写真や動画を収集し、商品造成後のプロモーション活動に備える。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美市滞在促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	コロナ収束後も持続的な奄美観光を実現していくため、奄美満喫ツアーの助成事業の実施をはじめ、体験メニューのブラッシュアップや奄美の魅力の情報発信を行うことなどにより、観光客の満足度向上や滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		338,419			
		前年度繰越		0	184,792	0	0
		翌年度繰越		▲ 184,792			
		その他増減					
		計	-	153,627	184,792	-	-
	執行額		149,661				
	執行率	-	97.4%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	旅行者の観光満足度(奄美大島中長期観光戦略)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:%】	64		68			
	実績 【単位:%】		62.2				
	達成度						
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言や島内感染者確認による事業の一時停止措置など、奄美を取り巻く観光状況は大変厳しい状況であったものの、旅行者の観光満足度については概ね目標を達成している。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	上記理由による事業の一時停止措置等があったため、事業を一部繰り越して実施する。コロナ感染症で大きなダメージを受けた奄美観光の回復を図り、コロナ収束後の観光満足度の更なる向上や滞在日数の延伸につなげるよう各取組を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和村奄美満喫ツアー助成事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美大島への誘客促進に資する2次交通や各目的型観光に対するインセンティブとなる助成を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算					
		補正予算		2,300			
		前年度繰越		0	1,500	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,500			
		その他増減					
		計	-	800	1,500	-	-
	執行額		141				
	執行率	-	17.6%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	交流人数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】	111		150		200	
	実績 【単位:人】		66				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルスの影響により、島外からの利用者が減少となった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	奄美満喫ツアー助成事業を奄美大島5市町村連携して行うことにより、誘客促進及び交流人口の拡大を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	宇検村奄美満喫ツアー助成事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美大島への誘客促進に資する2次交通や各目的型観光に対するインセンティブとなる助成を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算					
		補正予算		3,000			
		前年度繰越		0	2,860	0	0
		翌年度繰越		▲ 2,860			
		その他増減					
		計	-	140	2,860	-	-
	執行額		136				
	執行率	-	97.1%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数のうち、観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】		359,780			386,251	
	実績 【単位:人】		260,256				
	達成度		72%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナの影響により受入客数の大幅減により、事業完了が困難となったため繰越事業となった。実績値についてもその影響が大きい。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	新型コロナ収束のタイミング等を見計らい、事業を展開していきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	瀬戸内町体験型観光メニュー利用者促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	観光客の滞在促進を図るため、奄美満喫ツアーを実施する。また、瀬戸内町のメインコンテンツである「海」を海中清掃によりブラッシュアップし、満足度向上を図るほか、海中清掃の取組やweb配信用のイベントについて動画配信することで、瀬戸内町をPRし、誘客・滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		55,000			
		前年度繰越		0	1,000	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,000			
		その他増減					
	計	-	54,000	1,000	-	-	
	執行額		53,078				
	執行率	-	98.3%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	瀬戸内町への年間入込客数の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】	150,081	160,000	170,000			
	実績 【単位:人】		93,660				
	達成度		59%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染拡大防止等により、入込客が目標の58.5%の、93,660人となった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	コロナ終息後の観光客増に向けて、瀬戸内町のPR活動・情報発信をしていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	龍の郷滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	龍郷町	実施市町村名	龍郷町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	来島者誘致のために地元5市町村が連携し、体験メニューの利用などを目的とした奄美満喫ツアーの助成事業を実施し、観光客の誘客・滞在促進を図る。また、上記ツアーの利用を促進するため、町PR動画コンテンツの制作及びWeb配信により国内外の一般消費者を対象としたプロモーションを実施するほか、新規にプログラムを造成し、モニターツアーを実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		15,500			
		前年度繰越		0	10,400	0	0
		翌年度繰越		▲ 10,400			
		その他増減					
		計	-	5,100	10,400	-	-
	執行額		2,963				
	執行率	-	58.1%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数のうち、観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】		359,780			386,251	
	実績 【単位:人】		260,256				
	達成度		72%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症の影響で人の往来に大幅な制限がかかり、目標達成はならなかった。また、事業の執行にも多くの影響があり、繰越せざるを得なかった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	令和3年度は引き続き地元5市町村と連携した「奄美満喫ツアー事業」を展開するほか、上記ツアーの利用を促進するために町PR動画コンテンツを制作して国内外に発信し、世界自然遺産登録を契機とした誘客増を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	喜界町体験型・滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	観光アプリを開発し、観光地までの道案内やシマ歩きツアーの紹介、スタンプラリーの実施などアプリの多彩な機能を活用し、楽しみながらシマを巡る体験型観光を提供する。また、観光アプリの開発に併せ、1泊以上宿泊し、アプリ開発のためのアンケート調査に協力した方を対象にクーポン券を贈呈し、滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		9,310			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		-	9,310	-	-	-
	執行額			8,781			
執行率		-	94.3%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	喜界島への年間の入込客数の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】			65,000		70,000	
	実績 【単位:人】		45,848				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	観光アプリの導入を行った。管理運営が今後の課題である。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	アプリ内の写真などの充実化を図り、アプリの利用促進に繋げる。 また、3DARを今年度導入することによりさらなる入込客数増加、体験型観光の促進に繋げていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島町滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	域内の観光資源を十分に活用する旅行商品を造成し、滞在プランのモニターや広告宣伝等に取り組み、長期滞在者の増加及び体験型滞在プランの充実と満足度の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算					
		補正予算		7,000			
		前年度繰越		0	1,250	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,250			
		その他増減					
	計	-	5,750	1,250	-	-	
	執行額		3,278				
	執行率	-	57.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①滞在型プランの企画開発・ブラッシュアップ数 ②体験型観光の参加者数 ③観光客の実態把握数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:①コース ②③人】	①9コース ②10人 ③0人	①10コース ②20人 ③100人			①12コース ②60人 ③300人	
	実績 【単位:①コース ②③人】		①6コース ②2人 ③28人				
	達成度		①60% ②10% ③28%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】 事業計画のうち、宿泊割引がコロナの影響で実施できずに、翌年に繰り越した。					
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	繰り越した計画を実施したい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	おいでよ！魅惑のアマパゴス事業						
担当部課	企画財政課ふるさと創生室	事業実施年度	令和2年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、停滞した観光需要を喚起するため、動画(連作ショートムービー)を制作し、若年層を主なターゲットとしたプロモーションを実施する。また、ショートムービーのロケ地等を結ぶ聖地巡礼マップにより町内を周遊し、かつ、ショートムービーを視聴した観光客に対して、町内宿泊施設に宿泊した場合に使用できるクーポン券を発行し、滞在型観光を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算					
		補正予算		18,476			
		前年度繰越		0	15,222	0	0
		翌年度繰越		▲ 15,222			
		その他増減					
	計	-	3,254	15,222	-	-	
	執行額		3,210				
執行率	-	98.6%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①徳之島への入込客数 ②天城町公式YouTubeの視聴件数 ③天城町公式Instagramのフォロワー数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:①人②③件】	①128,000人 ②一 ③一		①130,000人 ②1,000件 ③500件		①132,000人 ②3,000件 ③1,000件	
	実績 【単位:①人②③件】		①80,480人 ②823件 ③418件				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数は大幅に減少したものの、公式YouTube視聴件数や公式Instagramフォロワー数は順調に伸びている。業務の一部が翌年度へ繰越となったため、感染状況を注視しながら事業推進に取り組む。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の影響によって繰越となった業務については感染状況を注視しながら早期執行に努める。 動画制作後は若年層を中心に積極的なPR活動を展開するとともに、観光客に対してクーポン券の活用を促し、滞在型観光を推進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	長寿と子宝のまち滞在型観光促進事業						
担当部課	きゅらまち観光課	事業実施年度	令和2年度				
事業主体	伊仙町	実施市町村名	伊仙町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	コロナ収束後の観光客の増加を図るため、島外在住の方へ町公式サイトやSNS等で伊仙町をPRする。また、島内で宿泊し、かつ、町内観光地、観光施設、観光イベント等での体験についてのアンケートに回答した観光客に対し、町内で使用可能なクーポン券を発行し、更なる滞在促進を図る。さらに、アンケート結果を基に、町内で実現可能な滞在型観光ツアーの企画・開発を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		51,000			
		補正予算					
		前年度繰越		0	30,930	0	0
		翌年度繰越		▲ 30,930			
		その他増減					
		計	-	20,070	30,930	-	-
	執行額		20,070				
	執行率	-	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】	128,000人		130,000人		132,000人	
	実績 【単位:人】		80,480				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	コロナ禍の中だったが、61%の達成率であった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	今後は世界自然遺産の登録もあり、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	高付加価値オープンエア型プログラム創出事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	和泊町	実施市町村名	和泊町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	<p>沖永良部島の自然や魅力を生かし、屋外での開放的なプログラム(オープンエア型プログラム)の造成と、それに伴う観光産業従事者の人材育成を進める。また、訴求力の高い動画制作やインターネットを通じたプロモーション及び旅費助成キャンペーンを実施する等、多角的な観光施策を実施することで、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだイメージと客足の回復を図るとともに、沖永良部島の自然、食、人のすばらしさを伝え、観光産業を発展させていく契機とする。さらに、来島者に対し、属性(性別、年代、発地、訪問回数、同行者等)や滞在の満足度や消費額、訪れたスポット等について継続的に収集し、分析・可視化できるシステムの導入を進めることにより、顧客ニーズに合わせた観光施策の展開を持続可能なものにしていく。</p>						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		36,000			
		前年度繰越		0	3,000	0	0
		翌年度繰越		▲ 3,000			
		その他増減		43			
		計		-	33,043	3,000	-
	執行額			33,043			
執行率		-	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	沖永良部島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】	90,617人		100,000人		105,000人	
	実績 【単位:人】		51,936				
	達成度						
	達成状況 の 評価	【R元年度】					
		【R2年度】	コロナ禍に対応したオープンエアな新規プログラムの作成、リアルタイム集計が可能な来訪者動向に関するモニタリングシステムの導入、デジタルマーケティングに基づいて制作・配信した動画の600万回超の再生など、着実な成果を得ている。一方、事業構想時は入り込み客数の増を目標値としていたが、新型コロナウイルスの影響が想定と比べ非常に深刻かつ広範であったため、現時点で達成は非常に困難であることが苦慮されており、むしろ令和元年度並に入り込み客数を短い期間で回復させられるかが重要であると考えられる。				
		【R3年度】					
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	本事業で作り上げたコンテンツやシステムを活用し、アフターコロナの誘客を促進し、早期のの入込客数の回復を図る						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	チナ泊・チナあしびブラッシュアップ事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	知名町	実施市町村名	知名町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	島民・旅行者に対しモニターツアーをはじめとしたブラッシュアップ事業を展開することで、旅行者の誘客や満足度向上による滞在促進を図り、コロナ収束後の持続的な知名町の観光産業の発展を目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算					
		補正予算		5,000			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	5,000	-	-	-
	執行額		2,877				
	執行率	-	57.5%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	来訪者の満足度					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:%】					54.3	
	実績 【単位:%】		57				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	コロナ禍での取り組みとなり、島民向けの体験プログラムや宿泊プログラムにおいては一定の実績を残せたが、島外からのモニターツアーは実施を見送り課題を残した。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	島民向けに実施した体験プログラムや宿泊プログラムにおいて収集したアンケート結果を基に、現状のプログラムの長所や短所、課題等を整理し、より良いサービスの提供につなげる必要がある。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	島の魅力発見事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	ヨロン島の魅力を発信するため、動画制作やエコツアーLIVE配信試行を実施するほか、ヨロン島旅行商品にエコツアー体験や与論島内で使えるクーポン券を付与することで、旅行者の来訪意欲の創出と滞在期間の延長、消費喚起を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算					
		補正予算		4,500			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	-	4,500	-	-	-	
	執行額		3,565				
執行率	-	79.2%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	入込客数の合計が増加する(ビジョンの成果指標と整合) ※新型コロナウイルスの影響を加味し、現況値の6割程度の入込客数にとどめることを目指す。(4-5月の入込客数対前年比90%減)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】	70,000	42,000				
	実績 【単位:人】		34,358				
	達成度		82%				
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	島内エコツアー体験の動画制作を行い、(一社)ヨロン島観光協会のHP等で動画配信を行った。入込客数に関しては、概ね達成出来た。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	今回の島内エコツアー体験動画制作や配信したデータを活かし、島内の観光業者等と連携をし、今後も体験メニューの造成を行うことで、入込客数の増加につなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島エコツアーリズム魅力体験事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島広域事務組合				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	認定エコツアーガイドと地域通訳案内士の連携によるスキルアップを図るとともに、オンラインツアーの実施、ガイドツアーに特化した動画の制作配信による観光客(インバウンド含む。)へのPR及びモニターツアーを実施することで、観光客の誘客、満足度向上及び滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		22,900			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	22,900	-	-	-
	執行額		16,646				
	執行率	-	72.7%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①奄美群島への入込客数の内、観光客数 ②エコツアーのプロジェクト数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 【単位:①人② 個】		①359,780人 ②10個			①386,251人 ②20個	
	実 績 【単位:①人② 個】		①301,523人 ②8個				
	達成度		①84% ②80%				
	達成状況 の 評 価	【R元年度】					
		【R2年度】	認定エコツアーガイドと地域通訳案内士が連携したモニターツアーの実施や新たにエコツアーのPR動画を制作した。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	令和2年度事業終了						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島広域事務組合				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	あまみシマ博覧会の助成を行うことで滞在促進の流れを作る。さらに、ワーケーションを行うことで奄美群島に来島する観光客の増加を図り、滞在型観光促進につなげていく。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算					
		補正予算		29,597			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	-	29,597	-	-	-	
	執行額		14,886				
執行率	-	50.3%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①あまみシマ博覧会プログラム実施利用者数 ②ワーケーションの参加人数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】	①2,803人 ①0人		①3,500人 ②100人		①6,000人 ②200人	
	実績 【単位:人】		①1,367人 ②33人				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	ワーケーション参加企業数23社33人、あまみシマ博覧会助成参加人数183人となった。コロナ渦でのキャンセルが相次ぎ、想うような実績には至らなかった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	ワーケーション実証のための事業となることから、本年度にて終了。今後の可能性を見極めていきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	世界ジオパーク認定に向けた奄美群島連携事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	喜界島サンゴ礁科学研究所と連携し、ジオパーク認定に向け、先進地の情報を収集するとともに、認定の大きな要素の一つである「機運の醸成」を図るために講演会やジオガイド育成勉強会、ジオサイトの選定を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	5,409	10,732			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	169				
		計	5,578	10,732	-	-	-
	執行額	5,578	6,567				
執行率	100.0%	61.2%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①ジオガイドの育成数 ②講演会の受講者数 ③ジオツアーへの島外からの参加者					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】			①21人 ②270人 ③5人		①35人 ②450人 ③7人	
	実績 【単位:人】	①7人 ②65人	①10人 ②0人 ③0人				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】 ジョガイドは年に7名の育成を目標としているため今年度は概ね達成できたが、講演会は年90人程度の目標に対し65名にとどまった。 【R2年度】 講演会はコロナ感染症の影響で実施できなかった。ジオツアーは島内の方のみで行った。4か所のジオサイトに看板設置を行った。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	ジョと喜界島の暮らしにあるものとの繋がりに興味を持ってもらうことが大切だと考えている。そのため「機運の醸成」を目的としたジオガイドの育成や広報誌やHPIによるPR、児童向けのパンフレット作成などに取り組んでいきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美・トカラ連携喜界馬復活・活用プロジェクト						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	十島村と連携し、かつて島民の生活を支えた喜界馬を復活させ、貴重な財産として保存、育成するとともに、地域の特徴を生かした観光や郷土教育での活用を推進し、地域活性化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	4,616	5,425			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	85			
		計	4,616	5,510	-	-	-
	執行額	3,649	5,510				
執行率	79.1%	100.0%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①郷土教育学習の開催回数 ②喜界島への年間の入込客数 ③喜界馬を活用したプログラム数 ④プログラム参加者数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標			①3回 ②65,000人 ③1件 ④15人		①5回 ②70,000人 ③3件 ④45人	
	実績	①1回 ②59,634人	①0回 ②45,848人 ③3件 ④33名				
	達成度						
	達成状況の評価	【R元年度】 郷土教育学習は年1回開催を目標としているため今年度は達成できたが、入込客は平成29年度より約6万人で横ばいが続いている。喜界馬も活用し、島のPR活動等を強化して入込客の増加を図りたい。 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により郷土教育学習が実施出来ず、入込客数も大幅に減少した。喜界馬活用プログラムでは、島外旅行代理店ツアーの一部に取り入れて頂いた。島内外の個人観光・見学者は約800名程度であった。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	令和2年度は繁殖の関係で2頭目を導入することが出来なかったため令和3年も引き続き2頭目の帰郷を目指し、喜界馬を活用した観光振興に取り組むと共に、島に住む子ども達の郷土教育学習を今後も実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	北山文化圏ロード構築事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	和泊町	実施市町村名	和泊町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	歴史的につながりのある北山文化圏(特に沖縄県今帰仁村)と、観光協会を交えた広域的な連携・交流を促進し、交流人口の拡大を図るための協議・検討及び地元デザイナー等を活用したプロモーション素材の制作を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	3,525	3,000			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	3,525	3,000	—	—	—
	執行額	2,505	105				
	執行率	71.1%	3.5%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	沖縄県から和泊町への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			15,710			
	実績 [単位:人]	23,480	12,186				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	H30.7.1よりアイランドホッピング便(徳之島⇄沖永良部⇄那覇)が就航したことにより大幅に増加し目標を上回った。また、世之主にまつわるガイドブックや組踊の取組が新聞報道等のマスコミに取り上げられるなど認知度の向上につながった。				
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、増加傾向にあった入込客数が減少したことで目標を下回った。また、予定していた沖縄向けのプロモーション活動も新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施できなかった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
今後の取組方針	【R5年度】						
	コロナウイルス感染症の動向を注視しながら沖縄向けのプロモーション活動の実施を検討していく。沖縄県北部(特につながりのある今帰仁村)との連携・交流拡大はもとより、与論島を含めた広域的な取組も視野に入れながら取り組んでいく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	与論町・国頭村連携遺産ロード構築事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	ヨロン島観光協会を中心として、沖縄県北部地域と一体となった旅行商品の造成やプロモーションの実施、沖縄県北部の国頭村と連携して魅力を発信する広域観光イベントの開催等を行い、広域観光商品の取組を広く周知し、効果的かつ戦略的な誘客を図るとともに、沖縄本部港～与論～奄美各島という広域観光ルートの構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	2,000	1,500			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	2,000	1,500	—	—	—	
	執行額	1,710	522				
執行率	85.5%	34.8%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			①80,000 ②10,000		①90,000 ②11,000	
	実績 [単位:人]	69,332	34,358				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	沖縄県国頭村との連携によるイベントやPR活動や当該地域からの来島者に対する地域商品券の付与等の成果もあり、バスツアー等をはじめとした本部港からのフェリーを利用した来島者が増加傾向にある。				
		【R2年度】	沖縄県国頭村との連携によるイベントやPR活動を当初予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等が中止となった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	国頭村との連携によるイベント等のPR活動、広域観光ルートの構築による域外からの観光客の誘客を図るとともに、両町村の民間団体や住民等の交流促進を図ることにより、同地域からの来島者の増加につなげる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島スポーツアイランド推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	スポーツ団体及び文化合宿を対象に、合宿支援事業を実施し、スポーツ合宿地としての定着化を促進するとともに、スポーツコミッション組織の育成や地域経済の活性化、交流人口の増加を図る。また、講師を招待しての講演会やスポーツ教室等を開催し、競技力の向上とスポーツ人口の拡大や育成につなげる。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	2,000	652			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	2,000	652	—	—	—	
	執行額	1,154	532				
執行率	57.7%	81.6%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①スポーツ教室・講演会の参加者数 ②スポーツ合宿受入延べ人数 ③新規合宿団体受入数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標			①400人 ②2,000人 ③1団体		①500人 ②2,500人 ③3団体	
	実績	①303名 ②1,780名	①0名 ②717名 ③1団体				
	達成度						
	達成状況の評価	【R元年度】 台風接近による合宿の中止や期間短縮等の変更があったが、トップアスリートによる講演会や実技指導は当初計画通り実施できた。 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より合宿団体は減ったがPCR検査受診の上2団体受け入れることができた。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	合宿地としての定着化と新規団体の獲得を目指し、民間事業者による誘致活動の活発化や受入体制の構築を目指さなければならない。各種セミナー等への参加や意見交換等、連携の強化に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	合宿日本一の”島”推進事業						
担当部課	商工水産観光課	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	アスリートが快適にトレーニングできる環境を整備するための施設整備や、トップアスリートを招いたスポーツ教室、講演会等を開催し、「日本一のスポーツ合宿の島」として、住民や民間を巻き込みながらスポーツを活用した徳之島観光の新たな魅力の創出や着地型観光につなげ、全体の産業振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	17,400	5,200			
		補正予算					
		前年度繰越	0	11,400	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 11,400				
		その他増減	0	52			
	計	6,000	16,652	-	-	-	
	執行額	6,000	16,652				
執行率	100.0%	100.0%	-	-	-		
成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①合宿受入延べ人数 ②合宿受入団体数 ③新規団体の受入数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標			①7,000人 ②42団体 ③3団体		①7,200人 ②44団体 ③5団体	
	実績	①7,043人 ②46団体	①5,569人 ②37団体 ③1団体				
	達成度						
	達成状況の評価	【R元年度】 後年度の目標値まで達成したことは評価できる。今後さらなる受入態勢の強化・環境の整備を図る。 【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により一部合宿のキャンセル等があったものの、前年実績と比較しても最小限の減少幅で済んだ。今後さらなる受入態勢の強化・環境整備を図る。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	誘致活動や広報・PRを積極的に行い、合宿受入の増加を図るとともに新規種目の合宿誘致のために受入態勢の強化・環境の整備を行う。またスポーツ教室や講演会を行い交流人口の増加に努め、スポーツを通じた産業振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	小さな島でもでっかいスポーツ環境創出プロジェクト事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	知名町	実施市町村名	知名町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	沖永良部島におけるスポーツコミッション組織の育成やスポーツ環境の課題調査, スポーツ合宿による他地域との交流等を支援し, スポーツを通じた産業振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	5,111	5,220			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	5,111	5,220	—	—	—	
	執行額	5,111	5,220				
	執行率	100.0%	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①スポーツ指導者の育成数 ②スポーツ振興による新たな雇用創出数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】		①2人 ②2人				
	実績 【単位:人】	①1人 ②0人	①2人 ②2人				
	達成度		①100% ②100%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	多くの指導者に来島いただき講習会を実施したことは評価するが、島内での指導者育成や雇用創出を図る。				
		【R2年度】	コロナ禍の中、地元指導者の育成に重点を置き、オンラインなど用いた講習会を行った。また、新たな雇用が出来たことは大いに評価できる。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	独自で講習会や運動教室等を行えるように人材育成や雇用の創出を図る。また、収益を見込めるイベントの開催を目指し、持続的かつ有効的なイベントの開催を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島型モデル I CT活用教育推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業	交付率	6/10				
事業内容	離島や小規模校でのICTを活用した少人数指導の良さや手法を県下に発信するとともに、本県の地理的特徴から困難とされる児童生徒同士の学び会いや多様な体験を通じた学習を支援することにより、コミュニケーション能力・コラボレーション能力など21世紀型スキルを養い伸ばす教育の充実、教職員の資質向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	4,137	28,000			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	4,137	28,000	—	—	—	
	執行額	3,158	27,810				
執行率	76.3%	99.3%	—	—	—		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①ICT活用校数 ②県との全国学力・学習状況調査における主要2科目(国語・算数)の平均通過率の平均比較					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:①校]			①4校 ②0%		①6 ②2%	
	実績 [単位:①校]	3	4				
	達成度						
	達成状況の 評価	【R元年度】 町内北部3小学校(母間、花徳、山)における遠隔授業の実施。教職員研修によるスキルアップ。 【R2年度】 町内北部4小学校(母間、花徳、山、手々)に遠隔授業用CT機器の更新・導入、及び地区指定4校合同遠隔授業の実施。教職員研修によるスキルアップ。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	町内北部4小学校で遠隔事業の充実。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ICTを活用した教育推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業	交付率	5/10				
事業内容	ICTを活用したインターネット塾の開講により、保護者の経済的・時間的・身体的負担を軽減させ、定住促進を図るとともに、村の生徒の学習機会の条件不利性を解消させ、地域を支える人材の確保・育成を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		5,000			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	—	5,000	—	—	—
	執行額		3,485				
	執行率	—	69.7%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	受講人数(累計)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]	13		35		53	
	実績 [単位:人]		14				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	前年度までは受験生である中学3年生のみを受講対象としていたが、基礎的学力の向上を図るため、R2年度より全学年を対象に開講したことにより、1,2年生の基礎学力の向上が図られるとともに勉強に向き合う「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来たことは、今後の受講生本人の「人間力」の向上にも繋がることを期待出来る。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	今後も中学生を対象に塾を開講し、基礎学力の向上を図るとともに勉強に向き合う「姿勢」を学ぶ機会を創出することで、「人間力」の向上の一助となることを期待し、事業に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ICT及びフリーランス等産業支援拠点施設整備事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業	交付率	5/10				
事業内容	本場奄美大島紬の後継者育成及び情報発信拠点としての生産性向上を図るため、空調設備の改修を図るとともに、同館2階部分に奄美市「フリーランスが最も働きやすい島化計画」の推進拠点となる「あまみ働き方ラボ」の整備(リノベーション)を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		109,826			
		補正予算					
		前年度繰越		0	69,855	0	0
		翌年度繰越		▲ 69,855			
		その他増減		1			
		計	-	39,972	69,855	-	-
	執行額		39,971				
	執行率	-	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	フリーランス育成者のうち収入を得た人数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】				100	110	
	実績 【単位:人】		89				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	令和2年度のフリーランス支援において、8名の新たなフリーランスを創出した。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	令和3年度に施設整備を終了し、施設運営手法を確立させることで、情報発信機能や支援体制が構築され、ビジネスのマッチング、企業・人材・仕事の誘致、フリーランス発掘・育成に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美らしい離島留学推進事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美市外6町村				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島における将来の産業の担い手確保等を図るため、本土等の児童生徒が奄美の自然や文化を肌で感じられるような奄美らしい離島留学の機会を創出するために必要な施策の実施を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	27,500	43,471			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	27,500	43,471	-	-	-	
	執行額	24,786	39,338				
執行率	90.1%	90.5%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	留学生人数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			40		50	
	実績 [単位:人]	68	74				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】 令和元年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は68人であり、中間目標値を上回った。 【R2年度】 令和2年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は74人であり、昨年度に引き続き中間目標値を上回った。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島加工品販路拡大支援実証事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美市外6町村				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美群島において、農林水産物を活用した加工品や伝統工芸品などの群島外への販路拡大に係る経費を補助するとともに、地域の特性を生かした商品の販路拡大に取り組む人材の育成を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		13,374			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減		15			
		計	-	13,389	-	-	-
	執行額		7,944				
	執行率	-	59.3%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	補助申請件数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:件】	0		20		32	
	実績 【単位:件】		21				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	事業の周知の遅れ等はあったものの令和2年度は21件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	周知を徹底し、申請及び助成件数増へとつなげ、積極的な事業者を引き続き支援することで、販路拡大の機会創出を図るとともに事業者の育成に繋げる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	スマートアイランド推進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和4年度				
事業主体	知名町	実施市町村名	知名町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 イ.防災対策の推進に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島の低炭素化に向けたエネルギー施策の推進及び奄美群島における災害時の電力供給安定化を図るため、再生可能エネルギー(小型風力)によるマイクログリッドを構築する実証実験を行う。また、低炭素モビリティの導入と充電設備の確保を図るため、電動モビリティの安定的な運用に蓄電池がどれだけ必要かを実測する実証実験を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算		27,735			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計	-	27,735	-	-	-	
	執行額		25,929				
執行率	-	93.5%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①化石燃料由来の既存電源から再エネ由来の独自電源を使用する電力量の増加 ②化石燃料モビリティから再エネ由来の電動モビリティに切り替えた移動距離の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:①kWh②km】	0	①5,000kWh ②5,000km	①10,000kWh ②10,000km			
	実績 【単位:①kWh②km】		①1,255kWh ②0km				
	達成度						
	達成状況の評価	【R元年度】 【R2年度】 モビリティに関しては今年度の事業概要に含まれておらず実証ができなかったため、次年度電動モビリティを導入した実証実験を行う。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	令和3年度は風力発電によって得られた電力を原動力としたモビリティを導入し、観光客への貸し出しによる需要や走行距離等のデータ収集を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	防災関連施設整備事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美市外10町村				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 イ.防災対策の推進に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	避難所機能(集会場や公民館等)の向上を目的とした整備や防災拠点施設等の整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	61,100	231,606			
		補正予算	457,900	795,098			
		前年度繰越	1,027,848	457,900	1,019,204	0	0
		翌年度繰越	▲ 457,900	▲ 1,019,204			
		その他増減	0	45,715			
	計	1,088,948	511,115	1,019,204	-	-	
	執行額	1,077,669	492,609				
	執行率	99.0%	96.4%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	①防災行政無線の整備率 (R5年度目標はデジタル無線での整備率を加味した目標) ②防災拠点施設(避難所等)要修復箇所数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標			①100% ②62か所		①83% ②41か所	
	実績	①99% ②142か所	①100% ②93か所				
	達成度						
	達成状況 の 評 価	【R元年度】					
		【R2年度】	着実に要修復箇所の整備が進められている。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ネコ対策事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美大島5市町村 徳之島3町				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	ノネコ対策と、その発生源対策を並行して実施することにより、アマミノクロウサギ等の希少野生動物の被害を防止し、独自の在来生態系の保全に資する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	65,472	68,235			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	1,350			
	計	65,472	69,585	-	-	-	
	執行額	53,648	66,524				
	執行率	81.9%	95.6%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ネコの不妊手術件数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:件]			1,300		1,030	
	実績 [単位:件]	1,256	977				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	令和元年度のネコの不妊手術件数は1,256件であった。				
		【R2年度】	令和2年度のネコの不妊手術件数は977件であった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美大島希少野生動植物保護事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	協議会	実施市町村名	奄美大島5市町村				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美大島内での盗採・盗掘を防ぐためのパトロールや外来種の駆除を行い、奄美大島の希少な自然環境を保全する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	8,200	8,200			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	8,200	8,200	-	-	-
	執行額	8,200	8,200				
	執行率	100.0%	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	パトロール1回あたりの希少種確認種数の積み上げ					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:種]			1,000		1,000	
	実績 [単位:種]	3,083	3,163				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。				
		【R2年度】	パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヤギ被害防除対策事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	市町村		実施市町村名	奄美市, 大和村, 宇検村, 瀬戸内町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	ノヤギ駆除を行うことで、希少植物の食害や、それに伴う土砂災害、赤土流出による海洋汚染などを防止し、世界自然遺産候補地となっている奄美の自然生態系を保全する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	9,446	10,189			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計	9,446	10,189	-	-	-	
	執行額	9,454	9,285				
執行率	100.1%	91.1%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ノヤギの捕獲頭数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:頭]			205		165	
	実績 [単位:頭]	265	255				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	令和元年度のノヤギの捕獲頭数は265頭であった。				
		【R2年度】	令和2年度のノヤギの捕獲頭数は255頭であった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続きノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	サンゴ礁保全対策事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村,協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	世界自然遺産登録に向けて、オニヒトデ駆除、モニタリング調査を行うとともに、サンゴの再生の手法について調査研究を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の状況	当初予算	21,957	21,869			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	21,957	21,869	-	-	-
	執行額	21,643	21,580				
執行率	98.6%	98.7%	-	-	-		
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	モニタリング調査を継続実施した箇所において、 ①サンゴ礁被度がH28(またはH28以降初めて調査した年(以下、「H28※」と表記。))と比較して5%以上、上昇した箇所数 ②サンゴ礁被度がH28※比で5%以上、低下した箇所数 ③サンゴ礁被度が60%以上の箇所数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標			H28※→R3 ①106箇所以上 ②27箇所以下 ③54箇所以上		H28※→R5 ①120箇所以上 ②11箇所以下 ③73箇所以上	
	実績	①58箇所 ②15箇所 ③19箇所	①51箇所 ②10箇所 ③20箇所				
	達成度						
	達成状況の評価	【R元年度】 令和元年度の実績はそれぞれ①58か所、②15か所、③19か所であった。 【R2年度】 令和2年度の実績はそれぞれ①51か所、②10か所、③20か所であった。 【R3年度】 【R4年度】 【R5年度】					
今後の取組方針	モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	水産物流通支援事業						
担当部課	-	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	奄美市外5町				
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 オ.林業及び水産業の振興に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	水産物の出荷団体が、奄美群島から沖縄本島まで出荷する際の輸送費の一部を補助することにより、奄美群島における水産業の振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	14,131	10,879			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	6			
		計	14,131	10,885	-	-	-
	執行額	9,619	8,673				
	執行率	68.1%	79.7%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	水産物輸送量					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:トン]			616		643	
	実績 [単位:トン]	1,078	974				
	達成度						
	達成状況 の 評価	【R元年度】	令和元年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,078トンであり、中間目標値を上回った。				
		【R2年度】	令和2年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は974トンであり、コロナ禍の影響により前年度よりは減少したものの中間目標値を上回った。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	引き続き沖縄県の市場への出荷することにより、販路拡大を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島水産業活力向上プロジェクト事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	協議会、市町村	実施市町村名	奄美群島一円、龍郷町				
事業分類	⑦オ. 林業及び水産業の振興に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	地域特産水産物であるシラヒゲウニ・ヤコウガイ等の資源回復や漁業生産の安定を図るため、種苗生産技術の導入、種苗生産体制の確立、藻場の回復を図るとともに、安定供給が可能となる養殖について検討を進める。また、漁港の製氷施設など漁業関連施設の整備等を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	0	108,100			
		補正予算	4,840				
		前年度繰越	0	4,840	100,500	0	0
		翌年度繰越	▲ 4,840	▲ 100,500			
		その他増減	0				
		計	0	12,440	100,500	—	—
	執行額	0	8,521				
	執行率	—	68.5%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	海面漁業の生産額					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:百万円]			10,329		10,382	
	実績	7,635					
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】	海面漁業の生産額1,202百万円＋クロマグロ養殖生産量6,433百万(固定)であり、カツオ類等の漁獲減少やソデイカ等の不漁により基準値の約75%となった。				
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症拡大のため、業者打合せ等が難航したことにより、製氷機設備改修工事の実施設計等の事業計画を翌年度に繰り越すこととなった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	シラヒゲウニの放流と併せて、奄美大島での種苗生産実証試験を行い、地元での種苗生産、放流体制を確立するとともに、安定供給が可能な養殖について検討を進める。 ヤコウガイについては資源回復や漁業生産の安定を図る取り組みについて検討を行う。 製氷機施設の改修工事については令和3年度内での完了を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	畜産緊急支援事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	市町村	実施市町村名	与論町				
事業分類	② 農業の生産性の向上に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	与論島における畜産業の安定的な運営・発展のため、死亡獣畜の保管・輸送等に必要な冷凍貨物コンテナ等の設備を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		30,290			
		補正予算					
		前年度繰越		0	30,290	0	0
		翌年度繰越		▲ 30,290			
		その他増減					
		計	-	0	30,290	-	-
	執行額						
	執行率	-	-	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	与論町における生産牛飼養頭数の増加					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:頭】			5,450		5,500	
	実績 【単位:頭】		5,669				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	子牛販売価格が安定しており、農家の増頭意識が強く、目標頭数を大幅に超える増頭となった。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	冷凍コンテナを導入する事により、死亡獣畜の安定的な処理を行いさらなる増頭を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業						
担当部課	商工水産観光課	事業実施年度	令和2年度～令和5年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	島唄, 闘牛等の各種イベントの開催や特産品販売等を行える複合施設を整備し, 交流人口の拡大を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算		40,000			
		補正予算					
		前年度繰越		0	40,000	0	0
		翌年度繰越		▲ 40,000			
		その他増減					
		計	-	0	40,000	-	-
	執行額						
	執行率	-	-	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】			130,000		132,000	
	実績 【単位:人】		80,480				
	達成度						
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に入込客数が減少となった。事業計画の再検討に伴い、全額を翌年度へ繰越。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	繰越後は早期に事業着手に努めるとともに、年次的に事業推進できるよう細部調整に努める。世界自然遺産に登録されたことにより、観光需要が高まることを見据え、多様な観光ニーズを的確に捉えつつ事業推進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	災害時医療体制強化事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	⑦イ. 防災対策の推進に関する事業 ⑦ウ. 医療の確保に関する事業		交付率	5/10			
事業内容	過去に発生した水害の影響で現在、医師が診療所から離れた場所に居住している現状のため、災害等の緊急時に即時対応できるよう、診療所の近隣に新たに医師住宅を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	0				
		補正予算	47,800				
		前年度繰越	0	47,800	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 47,800				
		その他増減	0	1,232			
		計	0	49,032	—	—	—
	執行額	0	49,032				
	執行率	—	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	災害時における医師住宅から診療所までの移動距離及び所要時間					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標		0.03km, 1分				
	実績	12km, 20分	0.03km, 1分				
	達成度		100%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	令和2年度に全額繰越のため該当なし				
		【R2年度】	令和3年1月7日に完成し、災害時における医師住宅から診療所までの移動距離及び所要時間の削減を達成できた。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	令和3年1月7日 災害等の緊急時に即時対応できるようになった。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハザードマップ更新事業						
担当部課	総務課	事業実施年度	令和元年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	⑦イ. 防災対策の推進に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	防災・減災意識醸成のため、現ハザードマップ(H24作成)を、新しく定められた警戒区域や表示方法に更新し、見やすく活用しやすいマップを作成配布する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算の 状況	当初予算	0				
		補正予算	10,000				
		前年度繰越	0	10,000	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 10,000				
		その他増減	0				
		計	0	10,000	-	-	-
	執行額	0	10,000				
	執行率	-	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ハザードマップ認知度					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:%]		100				
	実績	0	100				
	達成度		100%				
	達成状況 の評価	【R元年度】	更新をする際、洪水による浸水想定区域や津波の遡上想定区域など、ハザードマップに掲載する内容について庁内の他の計画(立地適正化計画等)や関係機関との調整に2ヶ月の不測の日数を要し、年度内の事業完了が困難となったため、R2へ繰越				
		【R2年度】	R3年度2月納品完了。また、年度内に奄美市全世帯への配布も併せて完了済である。本事業にて、奄美市内のハザードマップ更新事業は100%を達成				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	紙面でのハザードマップは10年毎に見直しを行い、WEB版でのマップにおいては毎年データの更新を行う予定である。(例:新しい土砂災害警戒区域の指定があれば、WEB版へ反映するなど。)						